甲斐市議会　決算審査特別委員会　会議録

１．開　催　日　時　　令和５年１１月９日

２．招　集　場　所　　甲斐市役所委員会室Ａ

出席委員（１３名）

委員長	長谷部　集　君	副委員長	清水和弘君
	若尾彰子君		安倍健治君
	保坂　康　君		樋口孝之君
	加藤敬徳君		谷口和男君
	金丸幸司君		滝川美幸君
	金丸　寛　君		松井　豊　君
	藤原正夫君		

欠席委員（３名）

秋山照雄君	小澤重則君
山本英俊君	

傍聴議員（２名）

議　長	赤澤　厚　君	監査委員	内藤久歳君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	山岡広司	書　記	森田　公
書　記	池上　恵	書　記	森澤隼人

審査内容

１　令和６年度予算編成に向けての要望について

２　その他

開会　午後　１時３２分

○書記（池上　恵君）　ご参集大変お疲れさまでございます。

ただいまから決算審査特別委員会を始めさせていただきます。

本日の委員会は、初めに委員長より挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本日は竜王庁舎の避難訓練があり、館内放送が流れますので、ご了承ください。

それでは、次第の２、委員長挨拶、長谷部委員長よろしくお願いします。

○委員長（長谷部　集君）　改めまして、こんにちは。

決算審査特別委員会ご参集、誠にありがとうございます。

決算審査自体は、もう終わりましたけれども、本日皆さんの令和６年度の予算編成に向けてのご協議をいただきたいというふうになっております。

決算審査が終わり、そこで終わるのではなく、そこで検討をした審議に出たことをしっかりと当局のほうに要望していくという趣旨の下、何年か前からこのことを始めておりますけれども、今回ここでご協議をいただいたものを最終的には市当局へ要望書を提出いたします。でも、提出して終わりではなく、今後の当局との委員会審議等でしっかりと要望したことが形になっていくのか、どんな形で進んでいるのかというのを、また注視していただくということも大変必要なことかというふうに思っております。

来年になりまして３月には、今回の要望が予算として今度は上がってきます。その時点で、ちゃんと予算に組まれているのかどうか、これもまた、チェックしていただかなければいけないことになってまいります。

そこで、もし、思うような形で予算がついていなかった場合には、そこでしっかりとまた審議をしていただく、あるいはこんなことはあまりないんですけれども、最終的には予算審査の中で、そのまま賛成可決ということではなく、場合によっては、そこで附帯決議をつけるような、そういう厳しい判断もしなければならない。そのスタートが、今日のこの要望書の提出ということになりますので、そんなこともお考えをいただきながら、皆さんで検討をしていただきたいというふうに思います。よろしくお願いいたします。

それでは、着座して進行させていただきます。

ただいまの出席委員は12名であります。定足数に達しておりますので、これより決算審査特別委員会を開会いたします。

なお、秋山委員、小澤委員、山本委員は欠席の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

また、藤原委員には、遅刻の連絡がありましたので、併せてご報告をいたします。

○委員長（長谷部　集君）　これより次第の３、内容に入ります。

（１）令和６年度予算編成に向けての要望については、各常任委員会において取りまとめをしていただいております。お手元にお配りをした要望書（案）のとおりであります。

なお、１ページの前文につきましては、各自確認をそれぞれお願いをいたしまして、それでは、総務教育常任委員長より順次ご報告をお願いしたいと思います。その後、協議をしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは初めに、滝川総務教育常任委員長、お願いします。

滝川委員長。

○総務教育常任委員長（滝川美幸君）　それでは、総務教育常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

市単独学校教育支援員等配置事業について。

本市においては創甲斐教育の理念の下、様々な教育支援を推進していただいており、大変ありがたいことと評価するところです。

しかしながら、全国的には、いじめや発達障がいなどによる不登校と思われる児童・生徒の数は年々増加しています。子供たちの健全な成長を見守ることは大人たちの大きな責務です。このことから、学校教育指導員・スクールサポートカウンセラー・部活動指導員・学力向上支援スタッフ確保のために十分な予算確保が必要です。創甲斐教育の推進は将来の甲斐市の発展に欠かせない事業ですので、予算拡大を要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部　集君）　ありがとうございました。

次に、金丸幸司厚生環境常任委員長、お願いいたします。

金丸委員長。

○厚生環境常任委員長（金丸幸司君）　それでは、厚生環境常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

福祉施設等への支援金支給について。

福祉施設では、新型コロナによる影響や光熱費、物価の高騰などにより施設の運営に大きな支障を来しております。また、施設利用者がよりよい環境で生活をするためには、冷暖房費等は不可欠であります。このことから利用者が安心して生活できるよう、安定した運営により、国の交付金等を活用した支援金を要望いたします。

以上です。よろしくお願いいたします。

○委員長（長谷部　集君）　ありがとうございました。

最後に、加藤建設経済常任副委員長、お願いいたします。

加藤副委員長。

○建設経済常任副委員長（加藤敬徳君）　それでは、建設経済常任委員会で取りまとめました要望事項について、朗読をもって報告に代えさせていただきます。

道水路の維持改修事業について。

近年、様々な社会インフラの老朽化が進み、人命に関わる事故の発生など、各地で深刻な問題が起こっています。市内の道路についても同様で、舗装の劣化や白線が消えてしまっている箇所が多く見受けられます。

また、世界的な異常気象により、台風や集中豪雨が発生し、想定外の雨量により河川が氾濫し、道路の冠水や床下浸水など、被害を受けている状況であり、道水路の改修は喫緊の課題となっています。

そのような中、各自治会からの道水路改修要望については、順次、対応は行っているもの、限られた予算の中で行うため、追いついていない状況であることから、道水路の早期改修に必要な予算拡大を要望いたします。

以上でございます。よろしくお願いします。

○委員長（長谷部　集君）　ありがとうございました。

以上で報告が終わりました。

質疑及び意見等がございましたらお願いをいたします。

質疑ございませんか。

松井委員。

○委員（松井　豊君）　３つともこれで結構だと思います。ただ１つ、１の市単独教員の関係ですが、教員の配置とか、それから、こういう単独教員の加配など、何か具体的な数値というか、基準がちょっと見えなくて、一般にこの支援員と言っていますけれども、どんな条件

で、どの程度支援員を置くのかというのがちょっと見えないんで、これは後で結構ですから、何か教育委員会というか教育長のほうからちょっと資料をいただけたらと思います。内容はこれで結構です。

○委員長（長谷部　集君）　総務教育常任委員会の中でご検討いただいたときには、そのような話はありましたか。

滝川総務教育常任委員長。

○総務教育常任委員長（滝川美幸君）　ありませんでした。

○委員長（長谷部　集君）　松井委員、総務教育常任委員会の中で、そのようにまた、ご提案をいただければ、総務の滝川委員長を筆頭に、そちらのほうで、また検討していただければというふうに思います。決算審査特別委員会は今日で全ての案件が終わってしまいますので、それについてのご回答を松井委員のほうにすることができないということでご理解をいただければというふうに思います。

○委員（松井　豊君）　はい。

○委員長（長谷部　集君）　そのほか、何かご質問、ご意見等、内容についても結構ですけれども、ありましたらお願いします。

〔発言する者なし〕

○委員長（長谷部　集君）　よろしいですか。

池上書記。

○書記（池上　恵君）　事務局より１つ、修正をお願いしたいところがあります。厚生のところです。私のほうでちょっと文面を間違えてしまいました。最後の一文なんですが、「このことから」の後に、「安定した運営により、」を先に入れてもらって、「利用者が安心して生活できるよう」に続けるふうに編集するつもりだったんですけれども、ちょっとそこが文言反対に入れてしまいましたので、そちらに言い直したほうがいいかどうか、ご協議をお願いしたいんですけれども。

○委員長（長谷部　集君）　もう一度お願いします。このことから……

○書記（池上　恵君）　「このことから安定した運営により、利用者が安心して生活できるよう、国の交付金等を活用した支援金を要望いたします」という内容のほうが、文がちょっとつながるかと思いますので、ご協議のほう、お願いいたします。

○委員長（長谷部　集君）　今、事務局より提案がありましたけれども、これは全員に図ったほうがいいですかね。厚生の方に、じゃ、ご意見を言っていただきたいと思います。

金丸厚生環境常任委員長。

○厚生環境常任委員長（金丸幸司君）　そうでしょう。私もちょっとこの文章、不自然だなと思って、まあ、私、委員長、言う立場だったんで、あれだったんですけれども、先ほど言われたように修正していただければいいと思います。

以上です。

○委員長（長谷部　集君）　厚生環境常任委員長より訂正の旨の話がありましたけれども、皆さん、それにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部　集君）　それでは、事務局提案のとおり修正のほうをお願いいたします。

そのほか何かありましたらお願いします。

〔発言する者なし〕

○委員長（長谷部　集君）　なければ、以上で令和６年度予算編成に向けての要望についてを、ここでお諮りをしていきます。要望書に記載のとおり、今後、提出をしていくということでご異議ありませんでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部　集君）　ご異議なしと認めます。

よって、令和６年度予算編成に向けての要望については要望書に記載のとおり、先ほど一部訂正がありましたけれども、決定をいたしました。

なお、市長への要望書提出については委員長にご一任をいただきたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部　集君）　それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、令和６年度予算編成に向けての要望についてを終わります。

次に、（２）その他に入ります。

委員の皆さんより何かありましたらお願いいたします。

〔発言する者なし〕

○委員長（長谷部　集君）　ないようですので、事務局何かありましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（長谷部　集君）　ないようですので、以上で、その他を終わります。

以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして、決算審査特別委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会　午後　１時４３分